



学校だより

令和3年度小川中学校
令和4年2月28日 発行

NO, 12 文責:小林 浩一

< 2月16日(水) 校長講話より >



【放送室からの校長講話】

坂選手は世界ランキング1位になったこともあり、テニスの世界では権威のあるテニス4大会、全米オープンで2回 全豪オープンで2回、合計で4回の優勝を果たしている有名なプロスポーツ選手です。

大坂選手が2020年の全米オープンで、名前入りのマスクで登場した事が話題となりました。知っている人も多いと思いますが、大坂選手は、人種差別に抗議の意思を示すため、白人警察官らに殺害された黒人被害者の名前が記されマスクを決勝戦までの7人分用意し、試合ごとに着けて入場し、優勝を果たしました。

その一人について詳しく紹介をします。

マスクにはブリオナ・テイラーと書かれています。医療従事者としての働きが評価され、州で表彰されたこともある人物でした。

彼女の自宅アパートに、警官隊が玄関ドアを叩き壊して突入。警官隊は混乱状況の中、拳銃を10発発砲し、武器を持っていなかったテイラーさんが死亡しました。警察はテイラーさんのアパートが、ギャングの麻薬取引に使われているとみていました。当局が疑いをかけていた1人がテイラーさんの元恋人だったため、テイラーさんの名前も捜査線上に上がっていました。ただし、テイラーさん自身は捜査対象ではなかったようです。

このように、米国では警察官に殺害された黒人は、米メディアによると、人口当たりで白人の2.46倍と言われ、黒人に対する差別がみられます。

大坂選手は「悲しいのは、7枚のマスクでは（黒人差別で）亡くなった人の数には足りないということ」と話していました。だが、マスクを着けて勝ち上がれば「もっと関心を広められる」との思いを原動力に頂点に立ちました。

この大坂選手の行動について世間では、「影響力を持つ人が積極的に社会問題に抗議するのはよいこと」など多くの賞賛の声が寄せられる一方で、「スポーツと政治は切り離すべきだ」「選手らが政治宣伝に利用される危険がある」「差別されておらず問題に無関心な人は、わざわざ世界大会の場でやる事じゃないと思っ

みなさん、おはようございます。今日の校長講話は、コロナウイルス感染症予防およびカゼ予防のため、放送で行います。パワーポイントでプレゼンを用意しましたので、それを見ながらお話しします。

2月4日に開会式が行われ始まった北京オリンピック、連日日本選手の活躍が報道されています。この大会では、服装の規定やスケートリンクの「穴？」など「まさか・・・こんなことが・・・」というが多くありますが、それでも、選手は最後まで諦めず、その時の状況下で最大限のパフォーマンスを発揮する姿には感動を覚えました。

突然ですが、この写真をご覧ください。誰か分かりますよね。

みなさんもよく知っているプロテニスプレーヤーの大坂なおみさんです。大坂選手は世界ランキング1位になったこともあり、テニスの世界では権威のある



【教室のテレビをみつめる生徒】



【黒人犠牲者の名前入りのマスク】

たかもしれない」など、慎重に行動すべきという声もありました。だが、人種差別は国際社会が撤廃を求めべき人権問題です。政治的な立場とは関係なく、その根絶を訴える意見は尊重されなければならないと思います。

スポーツ界のトップ選手の中には、社会問題について積極的に発信する人が多く、大坂選手にも、そうした意識が生まれているのだろうと思います。

優勝直後のインタビューで「私はアスリートである前に一人の黒人女性。白人が多数を占めるこの競技で、議論が始まれば正しい方向に踏み出す一歩になる」と答えています。続いて、マスク着用に込めた思いを聞かれたが、逆に大坂選手は「あなたが受け止めたメッセージは何でしたか」と取材者に問い返しました。その言葉は社会への投げ掛けでもありました。

スポーツには人種や民族、国籍の違いを乗り越える力がある。そんな価値を共有する公正な社会のために、アスリートたちが声を上げている。次は私たちの行動が問われる番です。

様々な差別が行われていても、多くの人が見て見ぬふりをするすることで、それらは知らず知らずのうちに肯定され継続されていきます。私たちが如何にこれらの問題に関心を持ち、自分事として捉えていくかが重要であると思います。

人権問題から離れますが、学校生活においても生徒会等で多くのメッセージが発信されています。発信者からは、それぞれの思いや願いが言葉を通じて発せられています。それらを聞く側の姿勢がどうなのか。大坂選手の言葉「あなたが受け止めたメッセージは何ですか」にあるように、メッセージを聞き流すのではなく、しっかりと受け止めることが重要です。「感謝あふれる学校にするため、どんなことができるか考えよう！」「あいさつを今まで以上に頑張ろう！」など、自分事として思うことが、よりよい学校づくりにつながっていくはずです。

今日の私のメッセージから みなさんは何を受けとめましたか？おわります。

2月の行事より

< 2月25日（金）第65期生徒総会 >

第65期生徒会による第1回生徒総会が行われました。12月から2月までの約3ヶ月間の活動内容報告と、決算報告が行われ承認されました。この期間を振り返って見ると、しめ縄作りの行事に始まって、本の福袋企画、confidence board、ピンクシャツ Day や、アルミ缶をより多く集めるための回収場所を村役場、バスティ、びっくらんどに増やすなど、新たな取り組みもありました。生徒総会での校長先生の言葉の中にもありましたが、伝統を引き継ぐところは引き継ぎ、新たなチャレンジをしていく姿がありました。総会で正副委員長が揃って質問に受け答えするスタイルも新たな試みでした。

今回の生徒総会も本来であれば、学習センターで行われる予定でしたが、感染対策として、三密を避け、体育館になりました。常時換気を行っているので、ジェットヒーターを焚いていても寒さを感じたと思います。今後も常に感染予防を気にかける中、様々な制約がある中で活動が行われると思います。

しかしながら、そんな中でも今日の総会での2年生のみなさんは緊張感の中にも真摯で生き生きとしていました。新たな小川中を創るという意気込みでやっていってください。今後の活動に期待しています。

<2月25日(金) 生徒総会での生徒会長あいさつより >



第65期生徒会が始まって、3ヶ月ほど経ちました。12月末に3年生の先輩から引き継ぎ、各委員会で新たな活動が始まりました。12月には、しめ縄作りを行い、新企画では本の福袋企画、confidence board、Give and Take、ピンクシャツ Day、感染対策の呼びかけ等を実施しています。私はこれらの活動を通して、一つの企画を行うには、多くの時間と多くの人たちの協力が必要なのことがわかりました。そして、先輩方が行なってきた仕事の大変さを改めて痛感しました。

さて2月11日に、長野上水内中学校生徒会サミットがありました。生徒会サミットは他校の生徒会長と副会長が一堂に会し、互いの生徒会活動についての情報交換や意見交換を通して、生徒会活動の活性化や実践的な態度を育む場です。

【挨拶する田邊会長】

小川中学校からは会長の私と副会長の2人が参加しました。今年も、新型コロナウイルスの関係でオンラインという形になってしまいましたが、他校の様々な企画や活動を聞くことができました。信更中学校では毎年6月に、人権生徒集会という会を設け活動していると聞きました。信更中学校の皆さんは、人権生徒集会を開くことで、いじめについて考え、お互いが尊重し合えることができる環境を作ることができたそうです。その他、地域清掃、花植えなどの、地域の人や自然と関わりを持つ活動や、挨拶週間などの、挨拶活動が積極的にできるようになる取り組みをしていこうとする学校が多くありました。

今回の生徒会サミットでは様々な意見を聞くことができ、自分自身、考えていなかった企画や活動を知るきっかけにもなったのでよかったです。私が生徒会サミットを終えて感じたのは、今年度のテーマである「感謝」や「積極性」を、より具体的な形にしていく必要があることです。日々、関わり合う人達はもちろん、中学校の中だけでなく、多くの場所やもの、自然など、当たり前にあるものに対する感謝や、日常生活での挨拶や意見交流の場面など、積極的に行動していく必要性を感じました。また、今回の生徒会サミットが無事に開催されたのも、開催者を含め、多数の方々に関わったからこそ実施することができたと感じています。この生徒会サミットで改めて大切だと学んだ「感謝」や「積極性」を、小川中学校の生徒会活動で、活かしていきたいと考えています。

最後になりますが、今日は、皆さんからの意見や提案で有意義な生徒総会になることを期待しています。3年生のみなさんも、最後の生徒総会、アドバイスがあればお願いします。



【換気、距離をあける、マスクの着用など感染症対策を行っての生徒総会】

< 2月の生徒会活動より 2月1日(火) ~ confidence (自信) board >

生徒会で「CONFIDENCE BOARD」の企画が始まりました。WAKATAKA (2022/1/11 発行) によると、目的は自分自身に自信を持つきっかけをつくり、生徒会活動に主体的に参加できるようにすることと、全校のことを互いに知り尊重することを通して自分に自信を持ってもらうことです。

内容は1ヶ月後までに達成したい目標、クラスメートからからの自分のよいところ、特技、自慢できることなどですが、最初は卒業前特別企画として、3年生から、1、2年生に向けたメッセージがあります。読んでみると、3年生の下級生への温かな思いが伝わってきました。自己肯定感や有用感はとても大切です。この活動もきっかけとして、自分に自信をもって生活して行ってほしいです。



< 2月9日(水) 本の福袋企画 >

2月9日の生徒集会では、編集・図書委員会より、先週まで行われていた「本の福袋企画」の振り返りが行われました。発表内容はアンケート結果が Chromebook も活用して、よくまとめられていて、わかりやすく、発表の準備に時間をかけたことが伺えました。

今回は結果の発表だけでなく、福袋企画に参加した人からの感想発表もありました。「この企画に参加したことで新たな本に出会えました。本格的な福袋でよかったと思います。」(3年生男子)

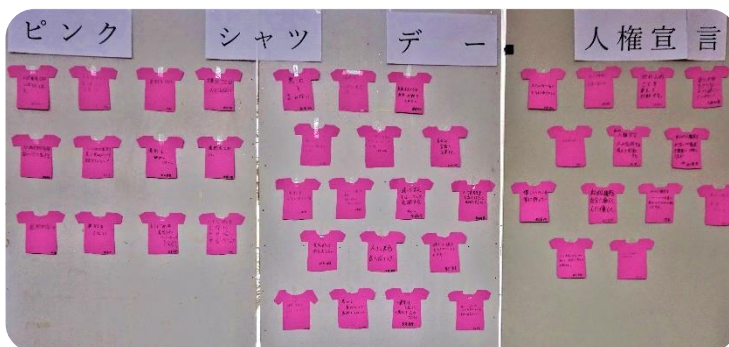
「景品があって楽しかったし、普段あまり読まない本が読めてよかったです。」(2年生女子) 「景品があって面白かった。本を借りられたけど、読めなかった本もあったので、機会があったら読んでみたい。」(1年生男子)

アンケート結果からは、本のジャンルをわけたらどうか、来年もやってほしいとの要望もありました。やはり、一つの活動が終了したら、それについて会員が意見を言えたり、次年度への方向が示されたりする機会があるのはよいですね。



【感想発表する生徒と委員長】

< 2月21日(月) ピンクシャツ Day ~ 小川中学校 人権宣言 ~ >



【ピンクシャツの型紙に書かれた全校生徒の人権宣言】

こす、いじめや差別に対して意識を高めるなどの効果、価値があります。

今年も評議・生徒委員会の企画で、「ピンクシャツデー・小川中人権宣言」が実施されました。廊下に掲

きっかけは、カナダでのできごとです。2007年、中学3年生の男子生徒がピンクのシャツを着ていたことが原因でいじめを受けたことを知ったある二人が、ピンクのシャツを50枚購入して学校で配布し、みんなでピンクのシャツを着て、いじめに抗議したのが始まりです。今では、毎年2月の最後の水曜日は、カナダのいじめ反対の日となりました。いじめに対して傍観者にならない、いじめに反対する行動を起

示されたピンクシャツの一つひとつに、「差別をしない」「人にやさしくする」「人に会ったらあいさつをする」などそれぞれ人権宣言が書かれています。

「宣言」とは、その意見や方針を外部に対して広く表明すること、各自がこうすると決めたことです。目標とは違います。宣言した方針に沿った行動をしていきましょう。小川中の生徒一人ひとりが安心して安全な学校生活が送れるようにしたいですね。


<2月22日(火)人権作文への感謝状>

県人権擁護委員会、地方法務局より、第40回全国中学生人権作文コンテスト県大会への参加に対して、感謝状をいただきました。

小川中学校からは2学年より入選者がありました。今年度は、人権学習に重点的に取り組んできましたので、感謝状をいただけるのはありがたいことですね。これからも日々、人権感覚を磨き、よりよい小川中学校にしていきたいです。



| | | |
|---------------------------|---|-----------------------|
| アルミ缶回収について 本部執行 | 目的 | 目標キロ数 |
| | <ul style="list-style-type: none">一つの目標に向かって全校が協力することによって団結力を養う地域や県、世界に寄付することで少しでも困っている人の手助けになるようにする | 350kg |
| | 寄付する場所はアンケートをとって決めます! | ご協力よろしくお祈いします! |



<アルミ缶回収について>

村の「朝、夜のお知らせ」でも放送していただいたので、ご存じの方も多と思いますが、小川中学校生徒会では、令和4年度も、アルミ缶回収を年間を通して行います。

目標は350kg。集まったアルミ缶はお金に換え、新型コロナの感染拡大でご苦労されている、県内の医療従事者の方々へ送ることになりました。

生徒会では、回収量を上げることと、学校まで来ていただかなくとも、アルミ缶を出していただけるように、村役場、バスティ、びくらんど小川の入口に回収箱を置かせていただいています。この効果からか、すでに、90kgが集まっています。今後もご協力をお願いいたします。

< 2月3日（木）薬師寺からの手紙 >

3年生が修学旅行で訪れ、法話をしていただいた薬師寺にお礼の手紙を送っていたのですが、その返事が3年生、学校のみなさん宛に届きましたので、紹介します。「お手紙頂戴してうれしく思っております。一生の思い出ができましたか。成人に向かって一日一日をしっかりと励んで下さい。薬師如来は健康の佛さま、皆様の身心健全をお祈りしております。法相宗大本山 薬師寺 一眞」

薬師寺とは「縁の瓦」のこともあり、縁のあるお寺です。修学旅行では法話を聞いています。

手紙の他に写真にあるものが同封されていましたが、その中に「挨拶」のことについて書かれたものもありました。「挨」は、おす（推）、おしひらくこと。挨拶は前に在るものをおしのけて進むこと。とありました。

これは、3年生が薬師寺のお坊さんに、「挨拶とは何か」と問われ、答えられなかったことに対する答えだと思えます。

挨拶は自ら相手の心を押し開き入っていくこと。互いに心を開き合う第一歩と受け取りましたが、どうでしょうか。

小川中学校の重点活動の一つに挨拶があります。今一度挨拶について考え、相手の心に届く挨拶ができるようになるとよいですね。



【法隆寺東塔と3年生】



【薬師寺から届いた手紙】

【PTA 常任委員会、総役員会ありがとうございました】

2月4日（金）の参観日に併せて、PTA 常任委員会、総役員会が行われました。各専門部において、年間活動の反省、次年度への要望が検討されました。蔓延防止等重点措置期間中のため、総役員会での各部の部長さんからの報告は行わず、部会ごとの解散といたしました。

総役員会の中で、令和4年度の三役が紹介されました。次期PTAよろしく願いいたします。令和3年度の役員の皆様一年間ご苦労様でした。



【R4 三役の皆様方】

【お知らせ】

・今後の行事について

小学校で新型コロナウイルスの感染による休校措置がありました。兄弟姉妹関係でご心配なご家庭もあることと思います。学校では感染予防に努め、村教育委員会とも連携して、各種行事の内容を状況に応じて検討し、実施してまいります。ご心配なことがありましたら、ご遠慮なく中学校へご相談ください。

・2学年修学旅行について

4月に予定されていた2学年の広島、京都、奈良修学旅行ですが、長野県も含め、各都道府県の感染状況が高止まりとなっています。一週間の平均感染者数も実施可能な数ではありません。感染予防の観点から、4月の修学旅行は延期とさせていただきます。詳しくは、2学年からの通知をご覧ください。